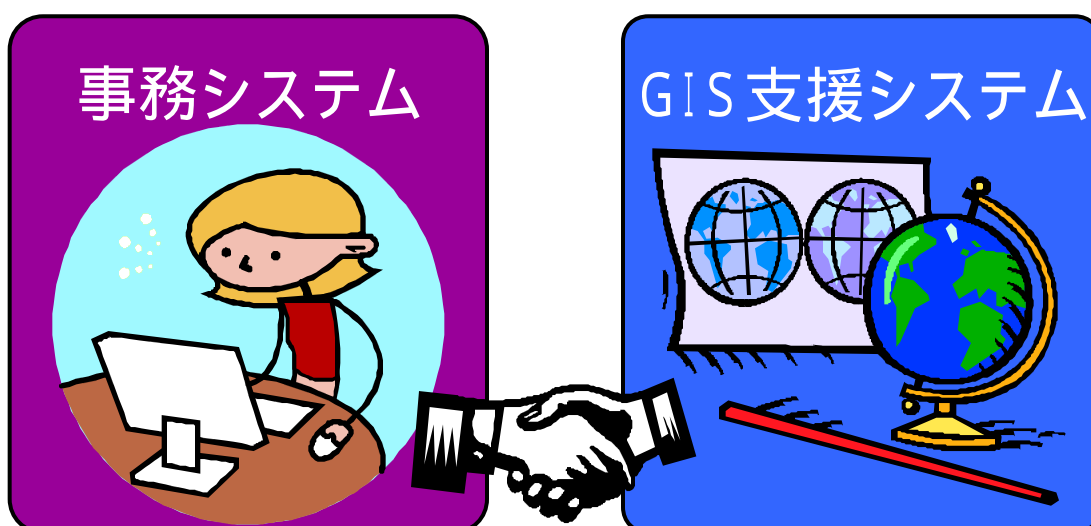


-農地等災害復旧事業補助率増高申請のための-

GIS増高申請システム(あざみ)

GIS 増高申請システム



GISを入カツールとし、視覚的な災害箇所の登録を実現

事務システムとGIS支援システムが連携した全く新しいソフトウェア^{*1}

増高申請に必要な字切図や大ブロック図、中ブロック図を簡単印刷

地籍や災害箇所の履歴管理機能により、通年災害にも対応

登録された災害箇所をGIS支援システムで視覚的に確認

すでに他社製の増高申請システムをお持ちの場合は相談下さい

*1：オー・エヌ・エス株式会社「増高申請システム」を連携対象とする

GIS増高申請システム(あざみ)

機能一覧

- 災害箇所登録機能 (GISで災害箇所を選択し、事務システムで登録できます)
- 災害箇所表示機能 (事務システムで選択した災害箇所を地図上に表示できます)
- 地籍等GISデータの履歴管理機能
- 字切図、大ブロック図、中ブロック図の印刷機能
- ガイドマップ機能 (対象全域の地図を表示。現在の表示位置を確認したり、ドラッグした位置へ移動も可能)
- パターン検索機能 (定型の検索パターンをマウス選択で指定できます)
- コード検索機能 (複雑な検索が可能な属性検索機能です)
- 任意検索機能 (地図上の「この部分」をマウスで選択する検索方法です)
- 選択データ一覧表示機能 (選択件数や数量の合計表示もできます)
- 選択データ毎の位置確認機能 (写真等のファイリングデータの表示もできます)
- 選択データCSV出力機能 (検索されたデータをCSV形式のファイルに出力できます)
- 面積計算機能 (指定範囲の面積を計算・表示することができます)
- ラベル設定機能 (属性項目から任意のラベルを設定できます)
- 位置情報表示機能 (GPS機能付携帯電話からの位置情報メールを解析し、地図上にポイント出力できます)

システム導入の為に必要なものは・・・

地図データ

- (1) 地籍データ：実際の地番毎に区切られた面(Polygon)データです
(地籍の履歴管理の為に、地籍の有効年設定が必要になります)

- (2) ブロックデータ：処理対象地域をブロック分けした面(Polygon)データです

背景図

背景図は、地籍データに登録された以外の地形を各市町村の平面図や数値地図で表示します
(地図画面の見た目は、このデータに左右されます)

航空写真

航空写真等を重ね合わせることで、地図の表現力を増すことも可能です。

データ作成方法

- (1) 現在あるデータを加工、流用する
- (2) 自分たちで一から地図データを作成する
- (3) 地図データ専門の会社に作成を依頼する

・・・不明な点は、お気軽にご相談ください。

動作環境

ソフトウェア

- OS : WindowsXP/2000
- GISエンジン : ESRI社ArcView9.X (GIS機能で使用)
- データソフト : MS-ACCESS 2000以上

ハードウェア

- システム : WindowsXP/2000が動作するマシン
- メモリ : 512MB以上 (1GB以上を推奨)
- ディスプレイ : 解像度 1,280×1,024(SXGA)以上
- ハードディスク : 1GB以上の空き容量 (ユーザによりデータ量は増減します)

Windows Vista には対応していません (平成20年6月現在)

<http://www2.ocn.ne.jp/~ons/>

オー・エヌ・エス株式会社
営業担当 : ons2@cronos.ocn.ne.jp
熊本市江越1丁目14-10 堀尾ビル2F
TEL 096-370-3990 FAX 096-370-3992

<http://www.bearroot.co.jp>

株式会社ベアールルートシステム
営業担当 : gis-pro@bearroot.co.jp
熊本市細工町3丁目7番 細工町ハイツ2階
TEL 096-322-6403 FAX 096-326-0648